

平成22年度 10月分NGO相談員対応結果

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

今月は大学生からの問い合わせが多かった。全国的に10月は国際協力の月と意識されているようで、北海道の大学や市民団体のイベントも国際協力を絡めたものが多いように思われた。また、北海道は事例が少ないものの企業が社会貢献のために市民活動団体を応援したいという要望や、寄付をしたいという事例もあり、しっかりとした受け皿としてのプラットフォームを形成する必要性を感じた。NPO・NGOに関する興味が今まで以上に高まっているように感じられ、NGO相談員として、北海道全域での活動を更に進めてゆきたいと感じた。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

1	開発教育の推進について	
相談内容	大学のサークル活動で開発教育を推進したいと考えているが、北海道のネットワークについて教えて欲しい	
対応内容	北海道開発教育ネットワークや、北海道ESD担い手会議などを紹介する。また北星学園のフェアトレードの取り組みなどについても説明をした。開発教育については、DEARなど先進的に取り組んでいるところもあるのでそちらの情報についても説明した。北海道では、函館、札幌、旭川、帯広にJICA国際協力推進員などもあるので、JICAとの協力関係についても話した	
特筆した理由	①大学生自らが開発教育に興味を持っていることから ②開発教育が若者の国際意識を高めているように感じられたため	

2	NPO・NGO活動への参加について	
相談内容	NPO・NGO活動に参加してゆきたいと考えているが、どのように参加したらいいかを教えて欲しい	
対応内容	まずは情報収集として、北海道NPOサポートセンターを紹介する。また、当団体、財団法人 北海道国際交流センター(HIF)の持つネットワークでNGO活動についても説明をした。また、設立についての申請の仕方や会計についての問い合わせについては、詳しい進め方については、北海道NPOサポートセンターが行っているサービスを紹介した。	
特筆した理由	①自ら働く場所をつくろうという人たちが多くなってきているため ②NPO・NGOへの窓口の必要性を強く感じたため	

3	企業との連携—CSRについて	
相談内容	企業側として市民活動団体に応援したいと考えているが、どのような団体があるのか教えて欲しい	
対応内容	市民活動情報をもっているボラナビ倶楽部(札幌)やボラット(函館)、わっと(釧路)などを紹介する。その中で、それぞれの分野の活動を紹介した。また、実際に企業と連携して活動している事例についても説明をして、より良いパートナーシップの築き方についても説明をした。	
特筆した理由	①まだ数は少ないが企業が連携したいという事例のため ②今後、CSRの推進を北海道でも進めてゆく必要性を感じたため	